

(3) 授業記録

「考えをもつ」段階で、考えのもてない児童を前に集めて助言する場面

T : みんなはもう、整数のたし算はできるよね? じゃあ、 $30 + 40$ を計算すると?

S : 70

T : $200 + 600$ は?

S : 800

T : じゃあ、 $30 + 40$ が 70 になる理由って説明できる?

S 1 : 30 は 10 が 3 個で、 40 は 10 が 4 個あるということだから、合わせると 10 が 7 個になって、10 が 7 個ということは 70 だよ。

T : じゃあ、 $200 + 600$ が 800 になる理由は?


S 2 : 200 は 100 が 2 個あって、 600 は 100 が 6 個あって、合わせると 100 が 8 個になって、100 が 8 個だから 800 になるよ。

T : そうだったね。(何十)+(何十)は 10 をもとにして、(何百)+(何百)は 100 をもとにして考えればよかったね。では、今日の $0.5 + 0.3$ は同じように考えられないかな?

S 3 : 0.1 をもとにして考えればいい。

T : できそう? できそうという子は、席に戻って考えを書いてごらん。

(何十)+(何十)や(何百)+(何百)は 10 や 100 を単位として計算すればよいことを思い出させ、本時の計算原理につなげるために、2 つの式の計算原理を問いかけた。



「考えをもつ」段階で、個人追究の中で助言する場面

<数図の考えを書いて止まっている S 4 に対して>


T : この考え、自分の言葉で説明はできる?

S 4 : 0.5 は 0.1 が 5 個で、 0.3 は 0.1 が 3 個で、合わせると 0.1 が 8 個になって、0.1 が 8 個ということは 0.8 になる。

T : 数図を使って、合わせた様子を上手に説明できたね。じゃあ、今の考えを説明する方法は、数図しかないかな?

S 4 : リトル図でもできるよ。
(この後、リトル図を使った考えを記述した。)

考え方が正しいことを認めた上で、他の方法でも表現しているように促した。



<数図とリトル図で考えた S 5 に対して>

T : 数図とリトル図を上手に使って書けたね。この 2 つの考え方で、共通していることって見つけられる?

S 5 : 両方とも、0.1 のいくつ分で考えてる。

T : そうだね。ちゃんと大事な考えに気付いているね。今までの勉強と共通してることも気付いた?

S 5 : 前にやった(何億)+(何億)は 1 億をもとにして考えたし、(何兆)+(何兆)は 1 兆をもとにして考えたし、今日は 0.1 をもとにして考えて、何かをもとにしてるのが似てる。

大切な考えを見つけていけるように、いろいろな考えに共通することや既習内容との共通点に目を向けさせた。

「見付ける」段階で、考えを交流し、出てきた考えの共通点や既習内容との共通点を見付ける場面

S : (リトル図を使った考え、数図を使った考え、数直線を使った考えの順で発表。)

T : では、今、3 つの方法で発表してくれたね。黒板をよく見てね。これらの方法で共通していることや、今まで勉強したことと共通していることは見つけられるかな?

S 6 : リトル図でも数図でも数直線でも、どれも考え方としては 0.1 のいくつ分で考えていることが共通していると思います。

S 7 : 4 年生の最初に勉強した(何億)+(何億)は 1 億をもとにして考えたし、(何兆)+(何兆)は 1 兆をもとにして考えたし、今日は 0.1 をもとにして考えて、何かもとになる数を決めて、そのいくつ分を考えているのが共通していると思います。

まとめにつながるポイントを明確にするために、多様な考え方の中にある共通点や既習内容との共通点に着目させた。